

近畿税政連

第244号 令和元年(2019年) 12月10日

税理士会の要望実現のために活動しています

発行所 近畿税理士政治連盟 発行人 久保直己/編集人 矢田善久
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <http://kinzeisei.jp/> e-mail info@kinzeisei.jp



明石魚の棚商店街—いりとりどり (明石市)

撮影：水田 輝 (明石支部)

■ 支部長・支部連会長・後援会会長連絡会議を開催	9
■ 支部連合会役員名簿	12

焦点

税政連に対して「政治好きな一部の税理士が勝手に活動している」とか「会費がどのような使われ方をしているのか分からない」などという批判がある。近税政の広報委員会に参加して13年目になるが、このような意見を聞くと、物凄く情けない気持ちになる。広報委員会のメンバーは、税政連の活動状況を会員に知ってもらうために、皆忙しい中、後援会や国政報告会に参加して、機関紙の作成にかなりの時間を費やしているからだ。近税会の会報に同封して全会員にお送りしているのであるが、ご覧いただいているのでしょうか？

本年7月におこなわれた第25回の参院選の投票率は48.80%で、衆院選を含め、国政選挙

主権者としての意識

として過去最低であった1995年の参院選(44.52%)に次ぐ低い投票率であった。有権者の二人に一人しか投票所に足を運ばなかったことになる。これで本当に国民が主権者と言えるのであろうか？民主主義の下では、誰が税を負担し、誰のために使うかが適正な手続で決められるはずなのに、半数もの人々が投票しない状況では民主主義の危機である。だから我々税理士は、税務に関する専門家として、社会的に責任ある主権者としてもっと政治に、税制に、予算支出に関わる必要がある。その国の税制こそ、その国の主権者の自立度を測るバロメーターなのだ！税政連が、税理士会(納税者)の要望実現のために必死で活動していることをもっと多くの会員に知っていただきたいと思う。(副幹事長 矢田善久)

租税と政治そして税理士の関わりについて考える

近畿税理士政治連盟 副会長 後安宏彦

政治と税理士との関係についてよく会員から聞かれることがある。この問いの前に、まずは「租税と政治は一体のもので不可分な関係にある」ことを理解していただきたい。そして「租税と政治」そして税理士との必然的な関わりを説明していく。



後安宏彦 副会長

1. 「21世紀の資本」からの引用…租税と政治の関係

トマ・ピケティは「課税は技術的な問題ではない。それは何よりも政治哲学的な問題であり、あらゆる政治課題の中で最も重要なものとさえ言える。税金なくして社会は共通の運命を持たず、集合的な行動は不可能だ。これはいつの時代にも当てはまる」と述べ、租税と政治との関係について説明している。

2. 日本国憲法における租税とは

憲法の前文において「日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じ行動し、…ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する」と規定し、国民主権を宣言している。そして憲法第30条に「国民は法律の定めるところにより、納税の義務を負う」と規定している。いわゆる大嶋訴訟の最高裁判決では「民主主義国家にあっては、国家の維持及び活動に必要な経費は、主権者たる国民が共同の費用として代表者を通じて定めるところにより自ら負担すべきものである」と述べている。つまり、租税は国家の維持及び活動に必要なものであり、代表者を通じて定め(政治の役割)、国民が負担すべきものと考えられる。

3. 租税と立法について

憲法第84条に「あらゆる租税を課し、又は現行の租税を変更するには、法律又は法律の定める条件によることを必要とする」と規定している。租税は、国民の富の一部を強制的に国家の手に移すものであるため、その賦課・徴収は法律の根拠に基づいておこなわねばならない(租税法律主義)。前掲最高裁判決によると「租税は、国家の財政需要を充足するという機能に加えて所得の再分配等の諸機能を有しており、国民の税負担を定めるについて…、総合的な政策判断等が必要である。したがって、租税法の定立については立法府の政策的、技術的な判断にゆだねるほかはない」としている。要約すると、租税は唯一立法により定められ、その過程は、正当に選挙された代表者(国会議員)が決定することになる。このように、立法の過程は、選挙で選ばれた国会議員に委ねられる。このことから、税は政治に深くかかわっているのである。

4. 租税と政治そして税理士…どうしてもこの結論に行き着く

もっと身近に考えてみよう。税理士会は税理士法第49条の11に基づき租税に関する建議をおこなうが、これは実務を知る税務の専門家の立場で、税制・税務行政の改善に努める社会公共的な使命と同時に責任を遂行する観点からおこなわれている。つまり建議書を作成することが最終目的ではなく、その実現ができて初めて使命と責任が遂行されたことになるのである。上記で述べたように、租税の立法過程は、国会議員に委ねられ、まさしく政治の中心項目なのである。税理士法第1条の税理士の社会公共的な使命、税理士法第49条の11の建議、そして法律として実現する責任が税理士会に課されているのである。このことから、税理士は必然的に税を通じて政治と関わり合いを持つようになっているのである。この点をぜひご理解いただきたい。



目次	焦点……………	1	後援会ニュース……………	10
	租税と政治そして税理士の関わりについて考える……………	2	支部連合会役員名簿……………	12
	支部連ニュース……………	3	かんさいすずめ……………	14
	支部長・支部連会長・後援会会長連絡会議を開催……………	9	銀河系……………	14

支部連ニュース

大阪府第1支部連

開催日 令和元年8月19日
場 所 大阪キャッスルホテル



大阪府第1支部連の定期大会が開催された。来賓として、衆議院の左藤章議員、大西宏幸議員、参議院の杉久武議員、松川るい議員、近税政より協阪説男副会長が出席した。

山川典男幹事長の司会で、小林邦雄会長のあいさつがあり、議長には中山彰会員が選出され、議案はすべて可決承認された。

続いて、国政報告会で、松川議員は我々の業際に関わることとして、税理士も税務のプロとして税制を提案すべきではないのか。韓国は大事な隣国ではあるが、特別扱いはしない、大人の関係を志向していくことになると話した。

杉議員は、所得税の医療費控除については、領収書に変えて、各医療費組合が発行する通知書が使えるよう様式の変更を含めて国会に問題提起をしているところであると報告した。

左藤議員は、北朝鮮の拉致問題について、拉致された人々には2つの短波放送を使い、ジャミングされないようにしている。拉致問題が解決しないと国交正常化はできないと述べた。

大西議員は、韓国の幼児教育における反日教育や、日本との従軍慰安婦や徴用工問題について意見を述べた。

続いて懇親会に移り、協阪副会長の中締めのあいさつで終了した。(天王寺支部 倉矢 勇)

大阪府第2支部連

大阪府第2支部連定期大会が8月26日、ホテルモントレラ・スール大阪で開催された。来賓として平野博文衆議院議員・尾立源幸元参議院議員・吉田おさむ元衆議院議員・國重徹衆議院議員・中山泰秀衆議院議員、近税政本部から河田秀雄副会長が出席した。



田野卓也幹事長が司会となり開会が宣言された。西川一博会長があいさつで、会費収納率の低下に対する懸念や今期で退任する旨などを述べた。

続いて、神吉康史代議員を議長に選出して議案の審議に入り、消費税改正について税政連の取り組みに対する質問などがあったが、すべての議案が可決承認された。

その後、来賓の河田近税政副会長の祝辞に移り、消費税改正について税政連活動及び会費収納に対するさらなるお願いをした。最後の祝電披露のあと、引地和生支部連副会長の閉会のあいさつで大会は終了した。

引き続き国政報告会が開催され、参加した各議員が国政報告をした。報告後、西川前会長より要望書を中山議員・國重議員へ手渡した。

その後、懇親会が開催された。本日選任された木原義和新会長があいさつをし、楯岡美佐子新幹事長が司会を務めた。協阪近税政副会長の乾杯で多数の会員の参加により盛会のうちに閉会した。(東淀川支部 西 義雄)

大阪府第 3 支部連

開催日 令和元年 9 月 4 日
 場 所 豊能納税協会 (池田市)
 来 賓 田 達満 近税政幹事長



定期大会では、司会の渡邊肇副幹事長より来賓の紹介がおこなわれ、高砂昭宏会長より「税政連は、税理士会の建議を後援会の議員を通じて国会の場に届けなければならない」と開会のあいさつがあった。

続いて、議長として光成創相談役が選出され、直ちに議案審議に入り、すべての議案が原案通り満場一致で可決承認された。

仲猛夫新会長から「国会議員の方々に納税者、税理士の意向をくんで、いかに我々の陳情を聞いていただけるように予算を有効に活用する。そのためには会費を支払ってくださる会員が少ないので、各支部ごとに少しずつ増やして欲しい」と述べた。

定期大会の後の祝辞では来賓の 3 名 (いずれも秘書の方々) が消費税増税のことを話題にした。

田近税政幹事長は「第 3 支部連の決算報告は、それぞれの支部ごとにも集計されている。これは他の支部連にも参考になる。税政連がどんな活動をしているのか分からないという声に答えて、この 9 月に日税政が発行する『日本税政連』で『令和 2 年度税制改正に関する建議書の概要』のリーフレットを全国の全会員に配布した」とあいさつした。

(吹田支部 高木晴雄)

大阪府第 4 支部連

開催日 令和元年 9 月 5 日
 場 所 ホテルアウィーナ大阪
 来 賓 脇阪 説男 近税政副会長



裏野榮士副会長の開会宣言があり、弓手宏亮会長より、日税連と日税政は車の両輪のような関係である、春の統一地方選、第 25 回参院選での電話などの活動に対してのお礼があり、9 月の東大阪市長選、税政連の会費納入についてのお願いのあいさつがあった。

次に、金田光世幹事長が議長に選出され、議事に入り、第 1 号議案から第 5 号議案まで、原案どおり、すべての議案について可決承認された。

その後、本日選任された高岡稔新会長が、税理士の声を立法府に届けるという税政連の目的のため支部連として役割を担っていききたいとのあいさつがあった。

続いて、来賓として脇阪近税政副会長が、久保直己近税政会長のメッセージを代読披露し、政治連盟のない士業はない、税政連とその生みの親である税理士会とは一体であり、皆が平等に支えて利益を享受できる税政連にしたいとのあいさつがあった。

その後司会者が閉会を宣し、定期大会は終了した。

引き続き、後藤淑子副会長のあいさつと乾杯で懇親会が開始された。終始和やかな雰囲気の中で意見交換がおこなわれ、堀貫英一幹事の 1 丁締めで閉会となった。

(東大阪支部 梅原文晃)

大阪府第5支部連



呑海英治会長

8月30日、ホテルレイクアルスターアルザ大津において、木戸朋宏会員の司会で定期大会が開催され、近税政本部より辻井賢博副会長、大阪府議会議員の杉本太平議員が来賓として出席した。議長には、北野信成会員が選任され、任期満了に伴う役員改選の件も含むすべての議案が可決承認された。この定期大会をもって、呑海英治会長が退任し、森敏則会員が新会長に選任された。議案審議終了後、辻井副会長の来賓祝辞では、参議院議員通常選挙における会員の協力に対し謝辞を述べた。続き、杉本議員からも祝辞があり、今年開催のG20、ラグビーのワールドカップ、万博開催、なにわ筋線の開業、2037年のリニア新幹線まで、大阪を取り巻く環境を考え、大阪府議として積極的に取り組んでいきたい。祝電披露後、藤原政則会員によるあいさつで定期大会は閉会した。

引き続き懇親会に移り、北側一雄衆議院議員、谷川とむ衆議院議員、尾立源幸元参議院議員、松浪武久大阪府議会議員からの各議員から祝辞があった。国会議員の方々は、令和元年10月からの消費税改正への対応について多く触れられ、松浪議員からは、大阪都構想問題に力点をおいた報告がされた。国政、府政の報告の後、和やかな雰囲気の中懇親会は進められ、原正人会員の中締めで閉会した。

(泉大津支部 笠井慎五)

京都府支部連

京都府支部連合会の第37回定期大会が8月30日に、ホテルグランヴィア京都において開催された。近税政からは原綱宗副会長、近税会京都府支部連より金澤好起会長、衆議院の伊吹文明議員、前原誠司議員、泉健太議員、本田太郎議員、安藤裕議員、参議院の福山哲郎議員、二之湯智議員が来賓として出席した。



左から林新会計、坂部会長、北尾新会長、安井幹事長、村中会計—新旧役員引継ぎの瞬間—

大会に先立ち、坂部浩会長から「昨年11月には本田議員の後援会が設立され、京都府支部連には後援会が8つとなった。後援会による支援は、税政連活動の中核をなすものであり、その組織が充実すれば我々が目指す公正公平で合理的な租税制度の確立に大きく近づけると考えている。次期執行部に対しても、今まで以上の温かいご支援・ご協力をお願い申し上げます」と退任のあいさつがあった。

議事終了後、新たに選任された北尾剛久会長は「今回、支部連会長という身に余る重い役職をいただき、誠に光栄ですが大変な重圧を感じている。本日、承認をいただいた基本方針に則り、後援会の活動支援と会費の収納率向上を目指したい。そのために、若い世代の会員にも税政連の活動をご理解いただき、後援会の会員になっていただきたいと考えている」と就任の抱負を述べた。

(上京支部 矢田善久)

兵庫県第1支部連

開催 令和元年9月4日
 場所 神戸三宮東急REIホテル
 来賓 赤羽 一嘉 衆議院議員
 伊藤 たかえ 参議院議員
 高橋 みつお 参議院議員
 久保 直己 近税政会長
 赤井 義宏 神戸税協理事長



今中明子幹事長による司会のもと、相内隆作神戸支部長による開会宣言がなされ、寺内設昭会長より、日頃の税政連活動の取組みに対する感謝の旨のあいさつがあった。議長には小申嘉次信会員が選出され、上程された議案は全て原案どおり可決承認された。

続いて来賓より、久保近税政会長「令和2年度の税制改正に関する建議、要望のもと、税政連活動の組織力向上を」赤井神戸税協理事長「若手税理士が増える中、政治への関心を深め、積極的な税政連活動を」とのあいさつがあった。

引き続き出席議員より、日頃の支援に対する感謝の意とともに、赤羽議員「引き続き、事業承継税制に積極的に取り組んでいく」伊藤議員「納税者に対する改正消費税制度への周知が必要である」高橋議員「初当選できた参議院選挙でのご支援に感謝する」とのあいさつがあった。

最後に、麻木邦子芦屋支部長により閉会の言葉があり、定期大会は終了した。

引き続き懇親会が開催され、盛会のうちに閉会した。

(芦屋支部 吉田智代)

兵庫県第2支部連

9月4日、明石グリーンヒルホテルにおいて、兵庫県第2支部連合会定期大会が開催された。来賓として、近税政本部より金子紀行副会長が出席した。

定期大会は活発な議論のもと、議案は全て可決承認された。そして永年会長を務めてきた北村光子会長の後任として、藤本晃新会長、藤田道広新幹事長が選任された。



引き続き開催された役員・代議員会においては、会費収納率を向上させるためには、どのような施策をおこなうべきかについて議論がおこなわれた。特に若い世代の会員の会費収納率が低い傾向にあることから、定期大会などの場にオブザーバーとして新入会員を招待し、税政連の活動内容を周知する機会を設けてはどうかとの意見があった。また出席役員の中にも、新入会員であった当初は税政連の存在意義が分からず、会費の支払についても強制力を感じなかったため、会費を支払っていない時期はあったが、その存在意義が分かった後は、毎年確実に会費を納めている旨の発言があった。

最後に、来賓の金子近税政副会長より、後援会活動や支部連活動について、多く会員が出席し、税政連活動を活性化させるためには、議員本人が会合に出席しやすいように、空港近くのホテルで開催するなどの工夫をしているところがあると事例を紹介した。

(明石支部 川淵佳子)

兵庫県第3支部連

開催日 令和元年9月4日
 場所 都ホテル尼崎
 来賓 大串 正樹 衆議院議員
 後安 宏彦 近税政副会長



定期大会は新庄谷誠会員の司会のもと、岡田彰徳副会長による開会宣言があり、阪上恭一会長より、支部連活動と会費納入率の向上に向けてより一層のご理解とご協力をお願いしたい旨のあいさつがあった。

続いて小塩明会員が議長に選出され、直ちに議事に入り、すべての議案が慎重審議のもと原案通り可決承認された。

来賓の後安近税政副会長より、久保直己近税政会長からのメッセージ代読と、税政連活動に対する協力と支援をお願いしたいとあいさつがあり、最後に三木泰典副会長の閉会のことばで定期大会は終了した。

続いて大串議員による国政報告会では、昨年12月に税理士による後援会が設立されたことに対するお礼と、衆議院議員三期目として経済産業大臣政務官や自民党副幹事長を務めた多様な経験から、関心が高い分野である社会保障・年金制度・事業承継税制・中小企業政策・租税教育・10月からの消費税の影響などについての考えなどを政治に反映できるよう、今まで以上に地元をしっかりと回りたいとの報告があった。

その後の懇親会では、和やかな雰囲気の中、盛会のうちに閉会した。

(伊丹支部 今田幸史)

兵庫県第4支部連

開催日 令和元年9月2日
 場所 姫路商工会議所
 来賓 河田 秀雄 近税政副会長



一ノ瀬会員が議長に選任され、第1号議案から第4号議案まで賛成多数で可決承認された。

河田近税政副会長から次のあいさつがあった。「消費税の税率アップとセットで、軽減税率が施行され、その欠陥が指摘されている。ファーストフード店では、テイクアウトは8%・店内での飲食は10%となる。店内飲食が目的でも、注文時に持ち帰ると言えば8%となる。親が子供に「持って帰って食べます」と嘘をつかせることがまかり通るような税制には、学者からも大いに問題があると指摘されている。今、実務上の損害賠償事案は、消費税が一番多いので、今後の更なる見直しが必要となる。

次は皇位継承、オリンピック・パラリンピック、衆議院選挙で世の中が忙しくなる。衆議院任期は4年だが平均2年位で解散しているので、選挙の際にはよろしくお願ひしたい」と述べた。

続いて、祝電が披露された。松本たけあき議員と山口つよし議員の「後援会の底上げ・関心を広げる手立てをお願いしたく思います」という内容であった。

その後、懇親会に移り、会員相互の意見交換がされ、盛会のうちに閉会となった。

(姫路支部 上野政則)

奈良県支部連

開催日 令和元年8月17日

場 所 春日ホテル

来 賓 衆議院議員：小林茂樹議員、奥野信亮議員、参議院議員：堀井巖議員、佐藤啓議員、辻井賢博近税政副会長、上松康員近税会奈良県支部連会長



定期大会において、山本眞市会長による先の参議院選挙での電話戦術へのご協力に対するお礼のあいさつの後、各議案が可決承認され、任期満了に伴う役員改選において、支部連会長に景山良一会員、幹事長に寺脇淳司会員が選任された。来賓のあいさつの要旨は次のとおりである。

●**小林茂樹議員**：消費税の増税については、ご理解をいただき、税理士の皆様にはご協力を賜りたい。

●**奥野信亮議員**：税制調査会の幹事をしているが、プライマリーバランスをイーブンにするには増税はやむを得ない。ただ、消費税の単一税率を主張する税理士会は、今後も大きな声で主張を続けてほしい。

●**堀井巖議員**：今後納税環境の整備、マイナンバーの普及、電子化などに注力していく。また京奈和道の完成には与党6名が頑張っているの期待していただきたい。

●**佐藤啓議員**：消費税の軽減税率では国民の皆様にご苦勞をお掛けすることになるが、永久ではないので、実施後の改善のための声を届けてほしい。
(葛城支部 吉田廣彰)

和歌山県支部連

開催日 令和元年8月31日

場 所 ルミエール華月殿

来 賓 岸本 周平 衆議院議員
世耕 弘成 参議院議員
後安 宏彦 近税政副会長



定期大会は、堀博充会員の司会により開会した。3期6年務めた森村透会長のあいさつがあり、税政連の果たす役割について述べた。続いて、山本大介会員が議長に就任し、全議案可決承認された。後安近税政副会長からの祝辞と、久保直己近税政会長からの祝辞代読、祝電披露の後、新支部連会長に選任された刀祢真大会員よりあいさつがあった。

世耕経産大臣は、参院選では、当初目標に掲げた得票率全国トップを達成した先の選挙のお礼を述べた。また、株式会社と個人事業主の事業承継税制の次は、他人による事業承継(M&A型)をおこなう際の譲渡益課税の問題点である。そして内閣改造では、どんな立場になっても全力で頑張る旨の報告があった。また財務省出身の岸本議員からは、緊迫したアメリカと中国について経済学的見地から国政報告があった。

最後は、岸友子新副会長のあいさつをもって、定期大会は閉会した。

懇談会は、木村雅彦近税会和歌山支部長の乾杯発声で開催した。

(和歌山支部 小西里枝)

滋賀県支部連

8月29日、ホテルポストプラザ草津びわ湖において、第38回定期大会が開催された。来賓として、近税政より久保直己会長が出席した。

安藤大輔幹事の司会のもと、伊藤孝夫副会長が開会宣言をおこなった。そして織戸英信会長より、7月におこなわれた参議院議員選挙対応へのお礼と7月以降の活動報告がされた。続いて山田正人会員が議長に選出され、竹中弘幹事



長による第1号議案から第5号議案の説明があり、全議案は可決承認された。

久保近税政会長より、先におこなわれた公明党との懇談会において、消費税の軽減税率導入や、難しい消費税の届出関係の改正について与党として対応をお願いしていただく旨の報告があった。組織の拡充と会費の納入のお願いがあった。次に各議員秘書より、うえの賢一郎議員、こやり隆史議員、大岡敏孝議員のあいさつ文が代読され、うえの賢一郎後援会の本城善男会長、こやり隆史後援会の金子紀行会長、大岡敏孝後援会の島淵裕一会長があいさつした。最後に堀井孝一郎副会長が閉会宣言し、定期大会は滞りなく終了した。

その後開催された懇親会では、鈴木勝博相談役の乾杯の発声の後、終始和やかな雰囲気の中で親しく歓談をおこない、横井昭次副会長の三本締めで散会となった。

(彦根支部 若林邦久)

支部長・支部連会長・後援会会長連絡会議を開催

11月8日に国民会館において「支部長・支部連会長・後援会会長連絡会」を開催した。

本部正副会長、同正副幹事長、同副委員長(政策・財務・組織・後援会対策・広報)、支部連会長・支部長、後援会会長、総勢119人が出席し、来賓(講師)として南条吉雄日税政後援会対策委員長が臨席した。

南条委員長から「後援会活動のあり方について」と題して講演がおこなわれ、その内容は、次のとおりであった。

政治連盟は、税理士会の目的を実現するために存在する運動体である。後援会は政治連盟の理念を体現したものである。しかし、後援会長に実施したアンケートの結果、課題として、①活動の低下、②会員数の減少、③高齢化、④財政であり、これらを集約すると、①政党嫌い、②会費徴収に抵抗がある、③役員に引受け手がない、ということになるのではないかと。しかし、



これらの課題を解決する即効薬はない。引き続き政治連盟と後援会は情報共有し、税理士会の支部と連携し、後援会の活動を丁寧に説明していく以外に方法がないと考える。結論として、後援会は議員が部会で発言しているかなどの情報を把握し、密着度を深めていく。要望を実現するために議員と議論し、それぞれの党内で部会で発言するよう求め、その内容をチェックする活動が、政治連盟と後援会の発展に寄与する。

後援会ニュース

高市早苗後援会

開催日 令和元年9月7日
 場 所 天理観光農園
 来 賓 高市 早苗 衆議院議員
 辻井 賢博 近税政副会長
 景山 良一 奈良県支部連会長
 上松 康員 奈良支部長
 丸田 隆英 葛城支部長



税理士による高市早苗後援会第20回定期大会が開催された。議長に武野勝文会長が選任された。議事については、全て満場一致で可決承認された。引き続き来賓の方々からご祝辞のあいさつがあった。

高市議員は、現在サイバーセキュリティ対策本部長をしており、外国から攻撃を受ける回数が一昨年は一日3億9千万回だったが、去年は5億2千万回になっている。キャッシュレス決済をおこなう通帳は、普段使いの通帳とは区別しておく必要があるとの注意喚起をした。中小企業が納期の当日にこの攻撃を受けると、データが全て開けられなくなり、納期が遅れたり、取引先に被害を拡散したりすると信用失墜となる。サイバー攻撃はゼロにはできないので、リスクの最小化を図り、セキュリティ対策の急務が必要だと述べた。

最後は、今崎善彦幹事長から閉会のあいさつがあり、盛会裏のうちに終了した。

(奈良支部 東 真由美)

関よしひろ後援会

開催日 令和元年9月10日
 場 所 くら蔵(神戸市)
 来 賓 関 よしひろ 衆議院議員
 田 達満 近税政幹事長
 寺内 設昭 兵庫県第一支部連会長



第11回税理士による衆議院議員関よしひろ後援会定期大会が開催された。佐々木仁朗幹事長による司会のもと、忝田裕顯会長のあいさつに続き、関議員に「税制改正に関する建議書の概要」が手渡しされた。続いて、中野裕之会員が議長に選出され、議案はすべて可決承認された。

引続き、田近税政幹事長より、平成31年度税制改正の要望項目の説明があり、また消費税のあり方については、税賠請求も多く抜本的な見直しが必要であると述べた。

○関よしひろ 衆議院議員 あいさつ

経済産業副大臣であった期間中には、経済成長、規制緩和、貿易などの関係で、外国へは、11ヶ月間で、30カ国ほど視察をした。イギリスのEU離脱の問題は、新たに生じる関税、通関手続き、英国とEU間での商品規格の相違など、海外日系企業に影響が生じる。また、米中の貿易摩擦の影響が日本で出始めている。10月から導入される軽減税率に対応するレジ補助金の導入率が低く、対策が必要だ。

引き続き、懇親会が開催され、和やかなうちに閉会した。

(西宮支部 森本幸子)

竹本直一後援会

税理士による竹本直一後援会の定期総会が、10月5日、都シティ大阪天王寺で開催された。来賓として、竹本直一衆議院議員、近税政本部より、久保直己会長、室谷澄男副幹事長が出席した。



松尾直城会員の司会で開会し、松尾八郎会長から「この度の安倍内閣改造で竹本議員が国務大臣に就任され、誠にありがとうございます。体に留意していただき、益々のご活躍をお祈りします。会員の皆様には、あわただしい電話連絡で早く出席していただきありがとうございます」とあいさつがあり、続いて後援会活動の詳細並びに収支決算について報告があった。

引き続き竹本議員が「松尾会長から祝辞をいただきありがとうございました。私は自民党の幹部として中小企業調査会会長の時は、7月20日を中小企業の日と定め、またリニア新幹線の委員長として、国費を3兆円投入して大阪までの工期を30年から20年に短縮し、昨年11月の大阪万博誘致では事務局長として成功に導きました。今日もうまく時間の都合が付き出席させていただきました。明日は京都国際会館で科学技術の世界大会があり、私を取りおこないます。引き続きのご支援をよろしく願います」とあいさつをした。

続いて、久保近税政会長が「竹本議員には大阪で、12年ぶりの国務大臣の就任で誠にありがとうございます」とあいさつをした。

(住吉支部 仕田原恒雄)

山口つよし後援会

開催日 令和元年10月5日
場 所 ホテルサンシャイン青山
来 賓 山口つよし 衆議院議員
澤田 千博 近税政副会長
田 達満 近税政幹事長
北岡 昭 兵庫県第4支部連会長



税理士による山口つよし後援会定期大会が開催された。竹内雅伸会員が議長に選出され、全議案が賛成多数で決決して承認された。

【山口つよし議員あいさつ】

戦後すぐは、防衛はアメリカに任せて、日本は経済優先で、推し進めてきた。その間基地を提供することを条件に、現在に至っている。

しかし今は、トランプ大統領により、アメリカファーストを掲げ自国の利益のみを追求する施策をとっている。マッカーサーが隣国を豊かにする政策を基本的にはとってきたのと大違いの政策である。

片や中国の習近平国家主席は、全く民主主義化ができていない。そして格差問題があり、一見社会主義的で平等ではあるが、一部のみが豊かである。

日本のこれからの課題は、まず選挙制度のあり方を整え、メディアを育て、民主主義を育てるという方向性が重要である。

北東アジア連携に向けて、仕事をやりとげたいと思う。

(姫路支部 上野政則)

近畿税理士政治連盟 支部連合会役員名簿

(順不同)

令和元年11月末現在

支部連	会 長	副 会 長	幹 事 長	副幹事長	会計監事
大阪府第1	中山 彰(西 成)	梅崎 道夫(東) 若林日出紀(南) 鳥家 誠(西) 西村 典雄(港) 山田 裕一(天王寺) 中谷 裕之(浪 速) 古田 敦彦(生 野) 齋藤 壽彦(東 成) 白川 俊一(阿倍野) 福田 尚武(東住吉) 服部 行男(住 吉)	神原 陽平(西 成)	河嶋 達(東) 堀 浩司(南) 瀬川 真二(西) 辻子 隆裕(港) 徳 芳郎(天王寺) 内海 清次(浪 速) 池田 裕智(生 野) 泉 隆雄(東 成) 山川 典男(阿倍野) 吉川 浩吾(東住吉) 瀬古 順子(住 吉)	大野 裕康(浪 速) 嶋末 貢(東住吉)
大阪府第2	木原 義和(北)	佐賀 秀治(北) 西川 一博(福 島) 堀田 治(大 淀) 吉住 隆弘(西淀川) 山村 行仁(東淀川) 旭 輝明(旭) 橋口 泰幸(城 東) 田邊 誠(枚 方) 並木 正次(門 真)	楯岡美佐子(北)	吉岡 奈美(北) 田野 卓也(福 島) 林 善一(大 淀) 仲田むつみ(西淀川) 荒木 栄邦(東淀川) 赤松由里子(旭) 池之本和哉(城 東) 道廣 友厚(枚 方) 神原 隆雄(門 真)	神谷 雅信(東淀川) 時光 敏(枚 方)
大阪府第3	仲 猛夫(茨 木)	古屋 秀典(茨 木) 小倉 毅(吹 田) 森田 茂稔(豊 能)	宮口 太(茨 木)	太尾田 博(茨 木) 山内 幹雄(茨 木) 榊山 京子(茨 木) 榊田 陽子(吹 田) 金子 薫(吹 田) 渡邊 肇(豊 能) 高砂 昭宏(豊 能)	中村 光子(茨 木) 岡本 昌平(吹 田) 和田 秀幸(豊 能)
大阪府第4	高岡 稔(東大阪)	後藤 淑子(富田林) 金田 光世(東大阪) 裏野 榮士(八 尾)	嶋田 薫(東大阪)	段野 隆弘(富田林) 稲次 啓介(富田林) 石橋 明史(東大阪) 高田 芳文(東大阪) 中上祐次郎(八 尾)	松尾 直城(富田林) 西村 智子(東大阪) 森 勇人(八 尾)
大阪府第5	森 敏則(堺)	白間 真次(堺) 原 正人(泉大津) 森田 敏裕(岸和田) 木戸 朋宏(泉佐野)	東 俊夫(堺)	西尾 重則(堺) 宮前 雅典(堺) 中島 浩(泉大津) 藤原 政則(岸和田) 山本 光男(泉佐野)	真奥 隆(泉大津) 吉田 英明(岸和田)
京 都 府	北尾 剛久(下 京)	村尾 慎哉(上 京) 村中 研治(左 京) 安藤 竜三(東 山) 萩原 政宏(伏 見) 竹内 政明(右 京) 平田 利男(園 部) 清水 靖昭(福知山) 松下 弘(舞 鶴) 山井 嘉文(宮 津) 廣谷 倫成(峰 山) 金澤 好起(宇 治)	安井 伸夫(中 京)	矢田 善久(上 京) 林 剛史(中 京) 日向 明泰(中 京) 榎 和哉(下 京) 二股 茂(左 京) 山崎 俊(東 山) 久保 美雄(伏 見) 谷 明憲(右 京) 松岡 保彦(園 部) 藤原 健(福知山) 山田 忠雄(舞 鶴) 高岡 政義(宮 津) 本井 哲也(峰 山) 米田 茂(宇 治)	東 智之(上 京) 森 繁樹(下 京) 田中 英文(右 京) 高瀬 哲也(宇 治)

支部連	会 長	副 会 長	幹 事 長	副幹事長	会計監事
兵庫県第1	寺内 設昭(芦屋)	相内 隆作(神戸) 桑原 幸司(灘) 長田 義博(須磨) 満留 久子(兵庫) 内田 公章(長田) 麻木 邦子(芦屋)	今中 明子(芦屋)	樽井 博(神戸) 倉島 吉男(須磨) 馬田 宣昭(兵庫) 垣見 芳正(芦屋) 吉田 智代(芦屋) 山口 竜義(芦屋) 小串嘉次信(芦屋)	笏田 周一(神戸) 平井 廣育(兵庫)
兵庫県第2	藤本 晃(明石)	上村 正和(明石) 澤木 俊昌(加古川) 有村 昌紀(加古川) 羽田 久晃(洲本) 藤本 秀樹(三木) 深田 享保(西脇) 吉田 稔(社)	藤田 道広(明石)	田中 勇治(明石) 山谷 学(加古川) 後庵 賀伸(洲本) 小藤 貴雅(三木) 池田 和史(西脇) 下山 仁(社)	出雲有希子(明石) 川淵 佳子(明石)
兵庫県第3	阪上 恭一(西宮)	三宅 利裕(柏原) 三木 泰典(豊岡) 能見洋八郎(和田山) 岡田 彰徳(伊丹) 佐茂 省治(尼崎)	小塩 明(西宮)	早淵 憲男(柏原) 長田 徹(豊岡) 今田 幸史(伊丹) 米倉 啓浩(尼崎)	清水 啓友(西宮) 山陰 雅史(尼崎)
兵庫県第4	北岡 昭(姫路)	山下 哲(姫路) 大西 祐次(姫路) 橋本 敬司(姫路) 春名 毅(姫路) 木藤 紀宏(龍野) 原 満弘(相生)	三木由佳子(姫路)	中田 昭二(姫路) 澤田 樹(姫路) 武内 雅伸(龍野) 花房 賢司(相生)	西村 靖彦(姫路) 後藤加代子(姫路) 中川 直美(龍野) 河村 敦(相生)
奈良県	景山 良一(奈良)	武野 勝文(奈良) 森村 博史(葛城) 里田 好(吉野) 西岡 明(桜井)	寺脇 淳司(葛城)	東 真由美(奈良) 今崎 善彦(奈良) 吉田 規靖(葛城) 藤田 徹(葛城) 岩崎 年秀(葛城)	青木 幸子(奈良) 米田 昌弘(葛城)
和歌山県	刀祢 真大(和歌山)	木村 雅彦(和歌山) 岸 友子(海南) 山本 大介(粉河) 光吉 直也(田辺)	堀 博充(和歌山)	藤原 光男(和歌山) 宇治川昌次(湯浅) 佐竹 節夫(御坊) 瀧岡 俊太(新宮)	谷井 茂紀(和歌山) 和田 全史(和歌山)
滋賀県	織戸 英信(大津)	金子 紀行(大津) 島渚 裕一(大津) 横井 昭次(大津) 畠山 譲治(大津) 小畑 雅裕(大津) 大林 傳治(近江八幡) 福田 長利(水口) 本城 善男(長浜)	竹中 弘(草津)	地村 秀磨(今津) 村田 正和(草津) 橋本 淳(草津) 上杉 恵一(水口) 川添 涉(近江八幡) 兒玉 匡仙(彦根) 藤 崇之(長浜)	辻 哲雄(彦根) 堀井孝一郎(草津)

澳 門

先日、久しぶりの海外旅行で澳門(マカオ)に行ってきました。すでにご存知のように、マカオといえば世界遺産とカジノの街として有名です。大航海時代に海を越えてやってきたポルトガル人が祖国を真似て街を作り、1999年に中国に返還、2005年には8つの広場と22個の歴史的建造物が「マカオ歴史市街地区」として世界遺産に登録されました。一方、大型リゾートの開発が進む埋立地「コタイ」地区には、5つ星以上のホテルが立ち並び非日常的な夢のような空間が無限に広がっています。マカオのカジノ収益はアメリカのラスベガスを抜いて世界一で、中国経済の鈍化に伴いピーク時に比べると落ち込んでいたとはいうものの、2018年通期で4兆円超の収益があるそうです。また、カジノだけではなく家族連れでも楽しめるショッピング、劇場、プールなどの施設も充実し、これがIR(統合型リゾート)かと実感しました。現在もホテルの建設ラッシュが続いており、マカオはバブル経済状態らしいです。



マカオと香港を一緒に回られる方も多いと思いますが、マカオ・香港間は、2018年10月に開通した世界最長の海上橋「港珠澳大橋(こうじゅおうおおはし)」でつながり、ますます近くになりました。24時間運行の高速バスに乗り約40分で到着、途中に大型船の通行を妨げないように6.7kmの海底トンネルがあります。両側のターミナルは巨大で、こんなに大きな施設が要るのかと思いましたが、祝日などにはそれだけの多くの人々が行き来するそうです。今回さすがに香港中心部には行きませんでした。香港空港がある香港側の玄関口「ランタウ島」では、何事もないような日常が流れていました。

日本でも統合型リゾート整備推進法が成立し、IRの建設に向けて進んでいます。マカオまでとは望みませんが、素敵な夢空間が出来上がることを切に望みます。(下京支部 吉田和之)

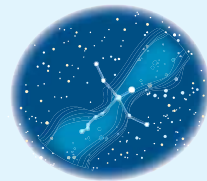
近税政本部のうごき

- 第2回正副幹事長会(9月20日)
 - 本部役員について
 - 本部6委員会 委員長、副委員長、委員の委嘱について
 - 委員会担当副会長の委嘱について
 - 推薦審査委員の委嘱について
 - 大阪府連合会、兵庫県連合会会長および同府県連役員の委嘱について
 - 名誉会長、顧問、相談役の委嘱について 他
- 第2回幹事会(9月20日)
 - 〔同上〕
- 第2回総務会(9月20日)
 - 〔同上〕
- 第3回正副幹事長会(11月1日)
 - 令和元年度運動方針及び委員会活動方針について
 - 各委員会の課題と対策及び今後の活動について
 - 会費収納率の向上策について 他

「訂正とお詫び」

本紙第243号(10月号)の17ページ「本部6委員会構成員」名簿につきまして、一部訂正がございました。政策委員会委員欄の兵庫県第1支部連、南木二郎(芦屋)となっておりますが、正しくは小串嘉次信(芦屋)です。訂正してお詫びを申し上げます。

銀河系



消費税の税率改定と軽減税率導入がおこなわれ

た。直前のニュース報道やワイドショーで、軽減税率について「店内飲食と持ち帰りの場合の価格表示など、その対応が分かれ複雑だ」とか、「レジ窓口での対応が難しい」などいろいろと現場の取扱い上の問題点が指摘されていた。これらの問題点は、税理士会がその当初から指摘してきたものであり、引き続きその是正を建議しているところである。振り返ってみれば、軽減税率の議論がされているときのマスコミ、とくに新聞の対応は、増税に対する論陣を張ったものの、軽減税率についてのネガティブ・キャンペーンはしなかったように記憶している。今も昔も報道の内容によって世論は作られる。税理士には、税制についてメリットとデメリットをはっきりと説明するスキルが求められるのではないかな。

(堺支部 大谷富太郎)

「表紙」題字：第6回川柳・書道コンテスト書道テーマ部門 最優秀会長賞(作=木戸義人 伏見支部)

「焦点」題字：第6回川柳・書道コンテスト書道テーマ部門 入選 (作=上村洋文 豊能支部)

税務便覧

令和元年分確定申告のための確定申告業務の必携アイテム

特色

- ① 確定申告業務に必要な事項がコンパクトに収録されています。
- ② 収録項目を縦覧しやすいように見開き型を採用しています。
- ③ 見やすさを追求したカラー印刷です。
- ④ 最新の税制改正に対応

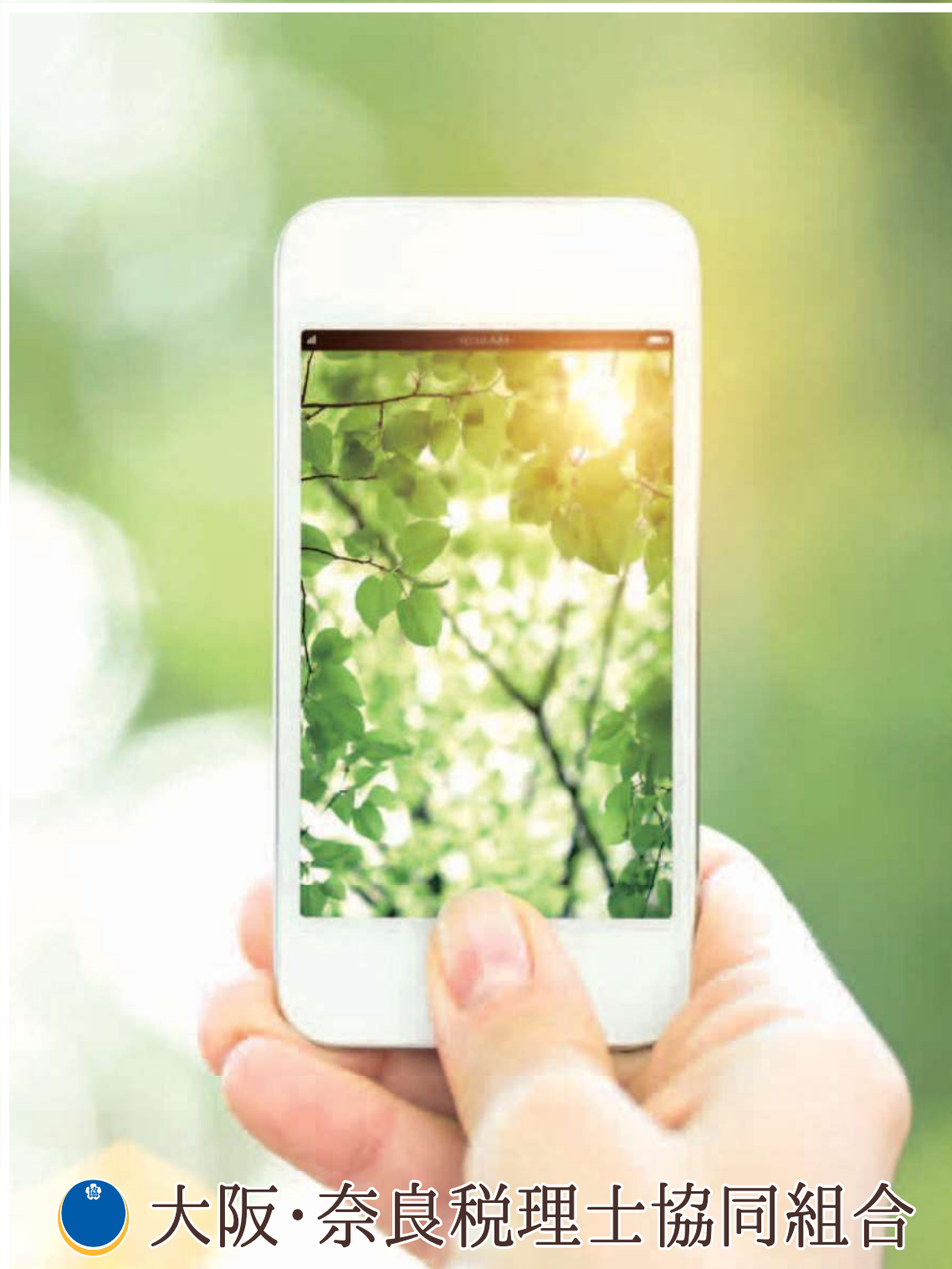
わかりやすい

所得税・贈与税・消費税・住民税・事業税の申告
及び
相談業務を迅速かつ的確にサポート!!



監修: 日本税務会計学会 税法部門副学会長
税理士 宮森 俊樹
A4判・総14頁 定価 420円(税込)

出版元 京都税理士協同組合
〒604-0943 京都市中京区麩屋町通御池上ル上白山町258-2
TEL 075-222-2311 FAX 075-222-2355



大阪・奈良税理士協同組合

<http://www.hanna-zeikyo.jp>

〒540-0012 大阪市中央区谷町1-5-4 近畿税理士会館11階 TEL 06-6941-6888 / FAX 06-6947-2800